

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	でいじいおれんじ				公表日	令和8年2月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2	・限られたスペースを少しでも広く使えるよう工夫していると思う。	・おもちゃが多く時々狭いと感じるので、定期的に収納を見直しスペースの確保に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	・低学年が多い時、高学年が多い時等で配慮していると思う。	・児童の男女比にスタッフの男女比が合っていないことがあるが、役割分担し対応していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	3	・建物の構造上、階段や段差はあるが手すりやす Tepp の設置などで配慮している。	・トイレに手すりがあると良いと思うので今後設置を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	・毎日の清掃、消毒を行っている。 ・子どもたちは牛乳パックスペースが好き。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	・宿題及び着替えなどをする部屋がある。 ・休憩したい時は畳の上で休んでいる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	3		・全職員に伝わるよう用語の説明などわかりやすく伝えられるよう心掛ける。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・始業開始前ミーティング及び業務日誌等で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		・外部評価は行っていないが今後導入を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・研修参加または資料配布、SNS等使い受けている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・計画された指導にしたがっていると思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・その時々々の案件にしたがい、また、共に検討していると思う。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	・計画に沿った指示を受けていると思う。	・定期的に支援会議を行い、職員の意見も反映させた計画書を作成及び共有することにより計画に沿った支援を行えるよう促していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・標準化された検査方法は実施していないが、日々の行動観察は行っている。 ・細かくはわからないが、日々検討・確認されていると思う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・その都度問題点を検討していると思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	・一日の日案、流れを伝えている。 ・ミーティングでその都度話し合っている。	・立案者やプログラムが固定されないようランダムに担当を決めるなど工夫していく。同じプログラムでも繰り返し行う重要性もあるため、活動の担当者に変化をつけるなどしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	・ミーティングでその都度話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・一人一人が出来る事を模索しながら行うようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・開始前ミーティングを行い、検討している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1		・支援終了後終業のタイミングが職員により異なるため、連絡ツールを使用し振り返りや気付いた点を周知していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	・必要な時に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0	・先輩に指導を受けながら行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1		・時々難しいと感じることもあるが、2つから1つを選ぶなどスモールステップからの支援を心がける。
		26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	・参加したことなどを教えてもらっている。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・出来ていると思う。	・行いたいのがなかなか難しい。今後地域の研修などに参加した際に積極的に声をかけていく。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	・相互理解や共有までは出来ていないが支援計画の提出は保護者に依頼し情報収集している。 ・連絡を取っていると思う。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		・学校卒業の年齢児がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	3	・他事業所との交流は行っている。 ・公園などは行く。 ・公園やイベントに参加している。	・他事業所交流や屋外活動についての活動計画・報告を回覧することで共有していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・こども部会に参加している。	・自立支援協議会の概要等職員に説明、伝達していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・保護者との面談を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	・情報提供を行っている。	・情報提供の内容をミーティング等で共有していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	・個別面談等で行われていると思う。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・送迎時に短時間でもコミュニケーションを図っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	・参観日など、複数の保護者に集まってもらえる機会を設けている。	・きょうだい児の参加について保護者のニーズを把握していなかった。今後面談等で確認し、ご意見を踏まえて開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・保護者から話があると、すぐに皆で話し合い対応を検討している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	・毎日の様子をブログで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	・保護者との連携が取れていると思う。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	・公園、散歩などしている。	・安全管理上事業所内に招待することができないが、季節のイベント時など散歩を兼ねて地域の方と交流を深める機会を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	・地震、火災等の避難訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	・災害時伝言ダイヤルやLINE安否確認での訓練を不定期に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	・契約時や面談時に確認し、薬を預かる必要がある場合は書面を提出してもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・検査結果、指示書のコピーを提出してもらい配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・皆で共有し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・研修ビデオ等で共有している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0		